

平成19年度事務事業評価シート(事業仕分けシート)【工事】

1. 基本的事項

工事名	都市計画街路事業(水保今浜線道路改良事業)		事業	316
総合計画	都市目標	にぎわいとやすらぎを創造するまち	所属	道路河川課
	施策大綱	快適な都市基盤の整備	所属長	樋口 昭
	行政項目	道路	グループ名	道路グループ
	施策方針	基幹道路の整備	作成者	中野 浩
	施策名	道路の整備	連絡先	582-1157(内)3424
必要性・背景	国道477号(琵琶湖大橋取付道路)と県道近江八幡大津線(さざなみ街道)との交差による琵琶湖大橋東詰め交差点における慢性的な渋滞解消と県道今浜水保線との接続によりさざなみ街道のバイパス道路としての機能を持たせ、また今浜地先に整備される「琵琶湖地球市民の森」へのアクセス道路として整備を行う。			
目的	琵琶湖大橋取付道路東詰交差点の渋滞緩和、さざなみ街道バイパス、琵琶湖地球市民の森アクセス道路整備を目的とする。			
受益者	市民および車輛利用者		受益人数	73,000 人
全体計画	道路新設 L=230m、W=16m		事業年度	総事業費
	車道2車線、両側W=3.5m、バリアフリー歩道		H14 ~ H18	360,000 千円
完成後の管理運営計画	管 理 項 目 お よ び 方 法		管理体制	年間管理費
	樹木管理、路面管理、側溝清掃、道路照明灯管理		1 人	230 千円

2. 事業概要および収支

事業概要	本工事 L=200m 歩道3.5m(両側)、車道6.0m(二車線)				
契約方法	入札	5 件	随意契約	3 件 備考	
実施体制	職員従事時間数	1,312	職員	0.67 人 委託業務 <input type="checkbox"/> 設計 <input type="checkbox"/> 監理	
	時間外勤務時間数	122	(単位:千円)		
[収入の部]	H17決算	H18最終予算	H18決算	H19当初予算	
国・県支出金	38,750	19,800	19,800		
市債(借入金)					
その他					
収入合計 A	38,750	19,800	19,800	0	
[支出の部]	H17決算	H18最終予算	H18決算	H19当初予算	
人件費等	職員分	4,058	4,369	4,369	4,395
	職員時間外勤務分		283	278	255
その他の経費	嘱託報酬・臨時職員賃金分				
	委託料(設計・監理)				
	工事請負費	48,399	35,160	34,957	
	用地購入費				
	補償費				
上記以外の経費	1,846	6,200	6,088		
支出合計 B	54,303	46,012	45,692	4,650	
(職員分を除く)	50,245	41,360	41,045	0	
[収支]	H17決算	H18決算	H19当初予算	備 考	
税等の一般財源充当額(千円)	15,553	25,892	4,650	B-A	
[効率性]	H17決算	H18決算	増減率H18/H17		
利用者1人当たりの事業費(円)	754	626	83.0		
利用者1人当たりの一般財源充当額(円)	216	355	164.2		

3. 評価 (H18実績)

【有効性】(一人当たり公園面積・道路改良率・地元要望総件数・整備施設総数)

活動指標	指標名	事業進捗率				単位	%
	数値		H17末	H18末	H19末	H21末	H18実績/H21末
		計画値(目標値)	80	100			#DIV/0!
		実績値	80	100	目標設定の根拠	年度事業費 / 全体事業費 × 100	
	達成率(%)	100.0	100.0				

成果指標	指標名	整備区間供用率				単位	%
	数値		H17末	H18末	H19末	H21末	H18実績/H21末
		計画値(目標値)	0	100	0	50	100.0
		実績値	0	50	目標設定の根拠 供用済延長 / 供用予定延長 (200m) × 100		
	達成率 (%)	#DIV/0!	50.0				

成果、「活動指標」や「成果指標」に基づく評価 (目標と実績の差の分析を行う。さらに、本事業を行うことによりどのような成果を生み出したのか、市民にどのような効果があったのかなど、具体的に記載する。)

県整備区間が未着工となっており、本事業区間との接続が出来ていないことから部分供用しかできておらず、事業効果が現れていない。

【評価の視点】

評価の視点	総合計画を達成するための上位施策への貢献度は、高いか。	<input type="checkbox"/> 明らかに高い	<input checked="" type="checkbox"/> 高い	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 不明確
	現行の事業(工事)内容で、目的は達成されるか。	<input type="checkbox"/> 達成できる	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成できる	<input type="checkbox"/> 不明確	
	他事業(工事)と比較して、緊急性は高いか。	<input type="checkbox"/> 明らかに高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
	市民ニーズを把握しているか。	<input type="checkbox"/> 把握している	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね把握している	<input type="checkbox"/> 把握していない	
	事業(工事)計画の範囲、対象等を見直す余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> 見直しを行う余地はある		

【評価のための参考資料】

近隣市の状況	廃止したときの影響

【方向性】

方向性	<input type="checkbox"/> 廃止する、または廃止の検討を行うべき事業(工事)である。	廃止年度 終期設定年度 廃止後の新規事業などの考え	
	<input type="checkbox"/> 民間(NPO、地域団体を含む)に任せることが適当な事業(工事)である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 国が実施することが適当な事業(工事)である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 県が実施することが適当な事業(工事)である。		
	<input type="checkbox"/> 市が改善して実施することが適当な事業(工事)である。		
	<input type="checkbox"/> 利用ニーズの再把握		<input type="checkbox"/> 事業(工事)内容の抜本的見直し
	<input type="checkbox"/> 事業(工事)統合・段階的廃止		<input type="checkbox"/> 事業(工事)規模の縮小
	<input type="checkbox"/> 事業(工事)規模の拡大		<input type="checkbox"/> 業務処理の効率化
	<input type="checkbox"/> 財源確保の努力		<input type="checkbox"/> 民間(NPO、地域団体含む)委託の拡大
	<input type="checkbox"/> 市が現行のまま実施することが適当な事業(工事)である。		

4. 課題(問題点)

昨年度の事務事業評価で抽出された課題	昨年度の課題に対する取組状況(昨年度評価して抽出された課題に対してどのような創意工夫、対応をしたか)

未解決の課題および新たな課題

次年度工事および今後の同種工事の課題	バイパスとしての接続予定の県道今浜水保線の整備が遅れている。
管理運営の課題	バイパスとなる県道今浜水保線が接続することにより、国道477号までを県道に移管したい。

5. 改善

改善の区分	具体的な課題解決の方策・改善の内容	改善予定年度
<input type="checkbox"/> 市民サービス向上面 <input type="checkbox"/> 財政面 <input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス面 <input type="checkbox"/> 人材育成・組織・学習面	滋賀県に強く要望していく。	

6. 所属長意見

所属長意見	県道の今浜水保線の早期完了により、目的(交通渋滞緩和)が達成できる。
-------	------------------------------------